

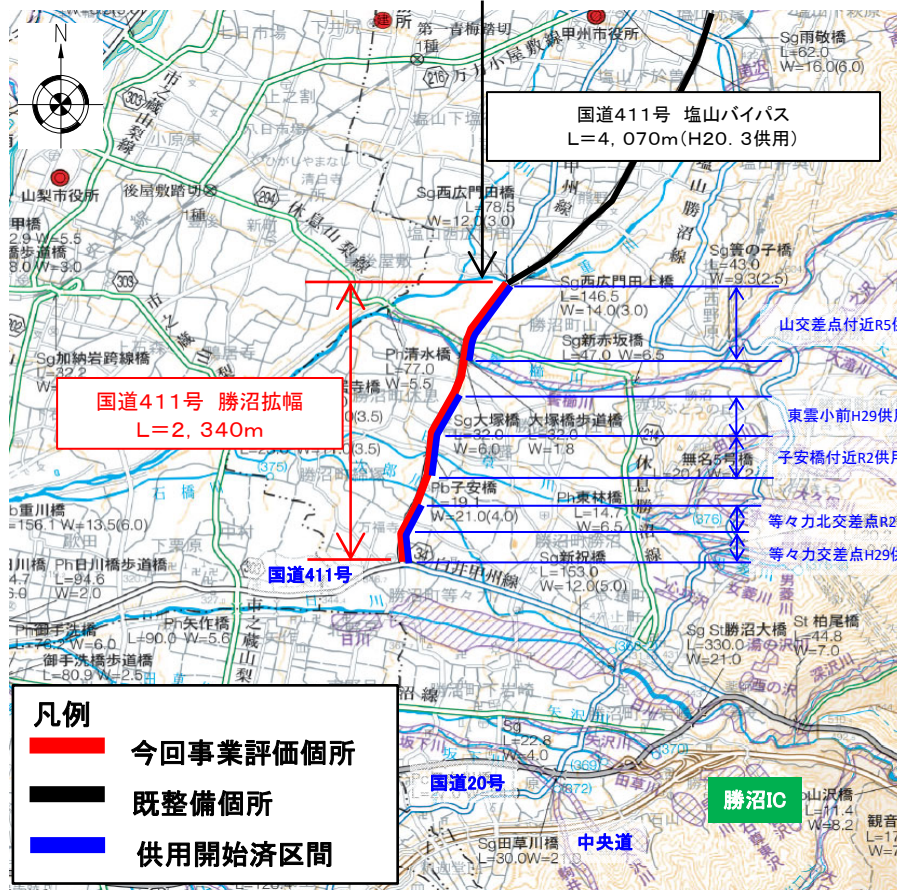
令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名		道路事業〔国道橋りょう改築事業（国補）〕		事業箇所	甲州市勝沼町山〜等々力	地区名	国道411号（勝沼拡幅）	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画		現計画		変更計画		④特記事項（関連事業概要等） ・塩山バイパス（L＝4,070m）平成20年3月に供用済み。 ・東雲小学校前の一部区間（L＝370m）平成29年度に完成供用済。 ・等々力交差点付近の一部区間（L＝170m）平成29年度に完成供用済。 ・子安橋付近の一部区間（L＝300m）令和2年度に完成供用済。 ・等々力北交差点付近の一部区間（L＝280m）令和2年度に完成供用済。 ・山交差点付近の一部区間（L＝680m）令和5年度に完成供用済。		
	H20～H27		H20～R7		H20～R10				
総事業費		3,350 百万円		4,600 百万円		4,600 百万円		⑤これまでの評価状況（令和4年度再評価） 公共事業等評価委員会において、継続することが妥当とされた。	
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果 一般国道411号は、東京都八王子市を起点とし甲州市勝沼町を経て甲府市に至る延長118kmの幹線道路である。 このうち、勝沼町山〜等々力地内は幅員狭小・歩道未設置のため、朝夕の通勤時間帯は混雑し、また大型車の通行も多いことから、自転車歩行者の通行に支障をきたしている。また、この区間の沿線には観光施設が多く、甲州市の主要観光ルートであることから良好な景観が望まれている。 このことから、通行車両や歩行者の安全性・利便性の向上や景観形成に資する道路改良を整備するのである。									
□主要目標		○歩行者等の安全性の確保 歩行者自転車交通量 161人台/12h > 80人台/12h※ 自動車交通量 9,029台/12h > 3,340台/12h(平日)※ 通学路指定 指定あり (H17センサス) 現況歩道幅員 0m < 1.4m未満※ ※再評価時点の基準値							
□副次目標		○災害に強い道路の確保 第1次緊急輸送道路							
□副次効果		○良好な景観の創出（電線類地中化） ○ライフラインの強化（電線類地中化） ○緊急時の避難・救助機能の確保（第1次緊急輸送道路）							
②事業概要 計画延長：L＝2,340m 道路幅員：車道6.5m（2車線）、歩道2.5m（両側） および電線共同溝整備（両側 延べ延長4,680m）									
③全体計画									
		令和6年度まで		令和7年度 （評価実施年度）		令和8年度以降			
現計画	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事		道路改良工事 電線共同溝工事 舗装工事					
	事業費	4,580 百万円		20 百万円					
変更計画	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事 電線共同溝工事		道路改良工事		道路改良工事 電線共同溝工事 舗装工事			
	事業費	4,474 百万円		30 百万円		96 百万円			

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。



2.評価シート（1）		（2）評価時点の費用対効果分析			
（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）					
①地域・住民の意向状況 変更なし					
②産業・経済情勢 労務費・建設資材費の上昇					
③国等の方針 変更なし					
④上位計画・関連事業計画等 ・山梨県総合計画（令和5年10月改定） ・山梨県強靱化計画（令和6年3月改訂） ・山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改定） ・山梨県道路の整備に関するプログラム（令和7年3月改定） ・甲州市景観計画（平成25年4月施行、令和2年10月変更）					
⑤自然環境条件等 変更なし					
⑥その他 変更なし					

項 目		着手時点	再評価時点	変更計画時点
総事業費		2,400 百万円	4,600 百万円	4,600 百万円
工 期		H20～H27	H20～R7	H20～R10
経 済 効 率 性	評価基準年	H19	R4	R7
	費用	2,170 百万円	6,023 百万円	7,336 百万円
	建設費	1,960 百万円	5,724 百万円	7,031 百万円
	維持管理費	210 百万円	299 百万円	305 百万円
	その他(	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	便益	5,830 百万円	6,590 百万円	8,516 百万円
	走行時間短縮便益	5,790 百万円	5,586 百万円	7,603 百万円
	走行経費減少便益	0 百万円	655 百万円	718 百万円
	交通事故減少便益	50 百万円	159 百万円	19 百万円
	その他※	0 百万円	190 百万円	176 百万円
B／C		2.7	1.1	1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上
※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要	
（平成23年度再評価） 県道休息山梨線において、清水橋～山区交差点間で拡幅改良事業を実施することとなり、これに伴い山区交差点の改良計画の見直しを行った。また、大塚橋架替え計画において、河川条件及び隣接土地との調整による計画の見直しを行った。 ・総事業費 33.5億円 → 42.5億円	
（平成26年度再評価） 用地取得の遅れに不測の日数を要し、事業期間の見直しを行った。 ・完成年度 平成27年度 → 平成29年度	
（平成29年度再評価） 用地取得の遅れ及び景観形成に資するための計画変更による計画見直しを行った。 ・完成年度 平成29年度 → 令和7年度 ・総事業費 42.5億円 → 46.0億円	
（令和4年度再評価） 前回評価から5年経過したため再評価を受けた。 ・完成年度、総事業費ともに変更なし	

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）100%→（実績）97.9%→（変更計画）97.9%

②進捗率実績が計画と相違している理由

用地取得に時間を要し、当初計画から遅れが生じた。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合 計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定

用地取得交渉に時間を要し、当該箇所の工事着手に遅れを生じたことから、工期を3年間延長する。令和6年度までに全ての用地取得契約が締結できたことから、工事進捗を図り令和10年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

計画的な工事発注を行うことで、事業進捗及び工期短縮を図る。

（５）環境負荷等への配慮

歩道舗装や照明等の構造物について、景観形成に寄与する色彩や形状となるよう検討し設計に反映した。

（６）コスト縮減の可能性

なし

（７）代替案立案の可能性

なし

（８）所管部の今後の方針 継続 **見直し継続** その他（ ）

（理由）

難航していた用地は令和6年度末までに全て契約に至ったことから、継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和10年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：％

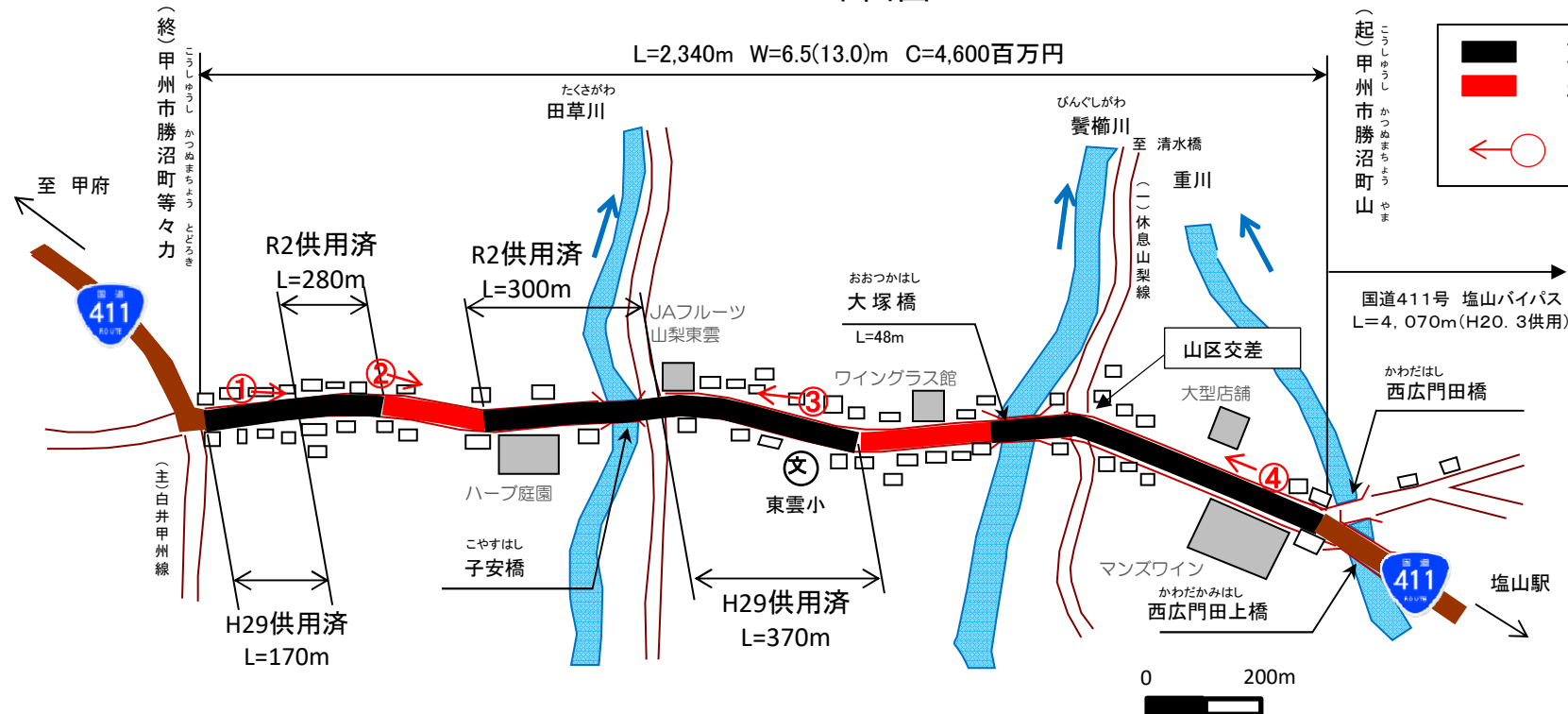
	年度	*H20	～	*H23	～	*H26	～	*H29	～	*R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
現	計画	1.6	～	28.7	～	54.1	～	66.3	～	96.3	98.3	99.6	100			
	実績	1.6	～	28.7	～	54.1	～	66.3	～	94.8	95.6	97.3	97.9			
	変更計画												97.9	99.2	99.8	100

*事業着手年度又は評価年度

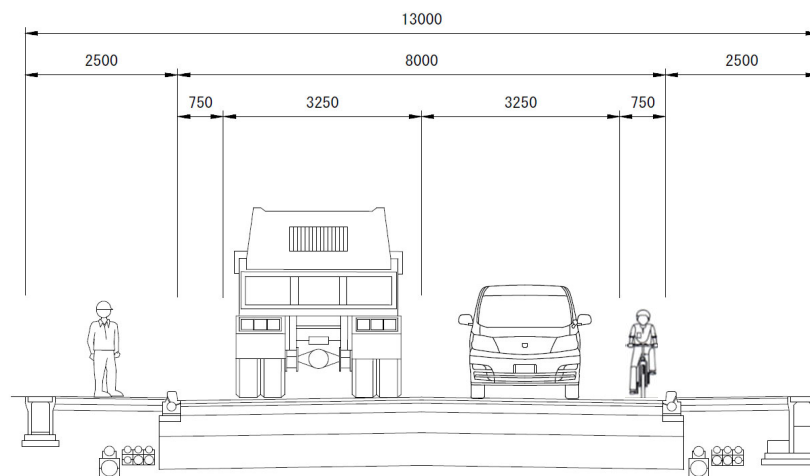
*R7年度の実績は見込み

3. 添付資料シート（1）

平面図



標準横断面図



3.添付資料シート（2）



①改良済み区間の状況



②未改良区間の状況



③改良済み区間の状況



④改良済み区間の状況

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H20	73,717	道路詳細設計 橋梁予備設計 路線測量 用地測量	1.6%
H21	161,960	橋梁詳細設計 用地補償費	5.1%
H22	578,759	電線共同溝詳細設計 道路改良 橋梁工事 用地補償費	17.7%
H23	504,463	道路改良 橋梁工事 用地補償費	28.7%
H24	582,896	道路改良 橋梁工事 電線共同溝工事 用地補償費	41.3%
H25	270,000	道路改良 橋梁工事 用地補償費	47.2%
H26	316,934	道路改良 橋梁工事 用地補償費	54.1%
H27	80,791	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	55.9%
H28	302,344	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	62.4%
H29	180,090	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	66.3%
H30	503,530	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	77.3%
R1	431,980	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	86.7%
R2	246,060	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	92.0%
R3	101,130	道路改良 電線共同溝工事 用地補償費	94.2%
R4	26,352	道路改良 用地補償費	94.8%
R5	36,230	道路改良 用地補償費	95.6%
R6	77,139	用地補償費	97.3%
R7	30,000	道路改良	97.9%
R8	57,000	電線共同溝工事	99.2%
R9	30,000	道路改良 舗装工	99.8%
R10	8,625	道路台帳	100.0%
合計	4,600,000		